





運命分かつ哀れな双子、傲慢な娘とその召使の物語。

動画共有サイトでリミックス再生を誇る鏡音リン・レンの中世物語風オリジナル曲集「悪ノ召使」など過去に書き留めたmothy「悪ノ」珠玉の作品達を、一挙高音質収録した大叙事詩が遂に完成。

色欲、悪食、嫉妬、強欲...罪深き彼らにどうか許し給え

QWCE-10031
STEREO
定価 ¥2,000 (税別)
©2010 EXIT TUNES
①11-6-214



悪ノ王国 evils kingdom mothy 悪ノfeat.鏡音リン、鏡音レン



QWCE-10031

- I. moonlit bear II. 置き去り月夜抄 III. クロノ・ストーリー IV. ヴェノマニア公の狂気 V. 悪食娘コンチータ
VI. トワイライトブランク VII. 悪ノ娘 VIII. 悪ノ召使 IX. リグレットメッセージ X. 白ノ娘 XI. Re_birthday
XII. 円尾城の仕立屋 XIII. 悪徳のジャッジメント XIV. 箱庭の少女 XV. ハートビート・クロックタワー

COMPACT DIGITAL AUDIO EXIT TUNES ジャケットイラストレーター: 竜加 公式HP: akunooukoku.com

10-12-22 ①② ©11-6-21まで ©2010 EXIT TUNES

定価 ¥2,000 (税別 ¥1,905) QWCE-10031 EXIT TUNES STEREO Made in JAPAN

この印を、権利者の同意なく複製・転載に使用すること、ネットワーク等を通じてこの印に収録された音を送信できる状態にすることを禁じます。また、個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権法上、無断複製は禁じられています。

© Crypton Future Media, Inc. ALL RIGHTS RESERVED (VOCALOIDはヤマハ株式会社の登録商標です)

© INTERNET Co., Ltd. ALL RIGHTS RESERVED © CAFFEIN / CFM



4 582275 372304

発売: クエイク株式会社 <http://exitunes.com> 販売: ポニーキャニオン <http://www.ponycanyon.co.jp/>



運命分かつ哀れな双子、傲慢な娘とその召使の物語。

劇場共有サイト「しりとり」で再生を誇る鏡音リン・レンの中世物語風オリジナル曲「悪ノ娘」「悪ノ召使」など過去に書き留めたmothy、悪ノPの珠玉の作品選を「高音質収録した」大叙事詩が遂に完成。

色欲、悪食、嫉妬、強欲... 罪深き彼らをどうか許し給え

QWCE-10031
STEREO
定価 ¥2,000 (税込)
© 2010 EXIT TUNES



悪ノ王国 *Evils Kingdom* mothy 悪ノfeat.鏡音リン、鏡音レン



QWCE-10031

- I. moonlit bear II. 置き去り月夜抄 III. クロノ・ストーリー IV. ヴェノマニア公の狂気 V. 悪食娘コンチータ
VI. トワイライトブランク VII. 悪ノ娘 VIII. 悪ノ召使 IX. リグレットメッセージ X. 白ノ娘 XI. Re_birthday
XII. 円尾坂の仕立屋 XIII. 悪徳のジャッジメント XIV. 箱庭の少女 XV. ハートビート・クロックタワー



ジャケットイラストレーター: 志加 公式HP: akunoooukoku.com

10・12・22 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

定価 ¥2,000 (税別 ¥1,905) QWCE-10031 EXIT TUNES STEREO Made in JAPAN

このCDを、複製等の許諾なく複製等に提供すること、ネットワーク等を通じてこのCDに収録された音を送信する装置にすることを禁じます。

また、個人的に楽しむなどの場合を除き、再複製は、複製権は禁じられています。

© Crypton Future Media, Inc. ALL RIGHTS RESERVED. (VOCALOIDはヤマハ株式会社の登録商標です)

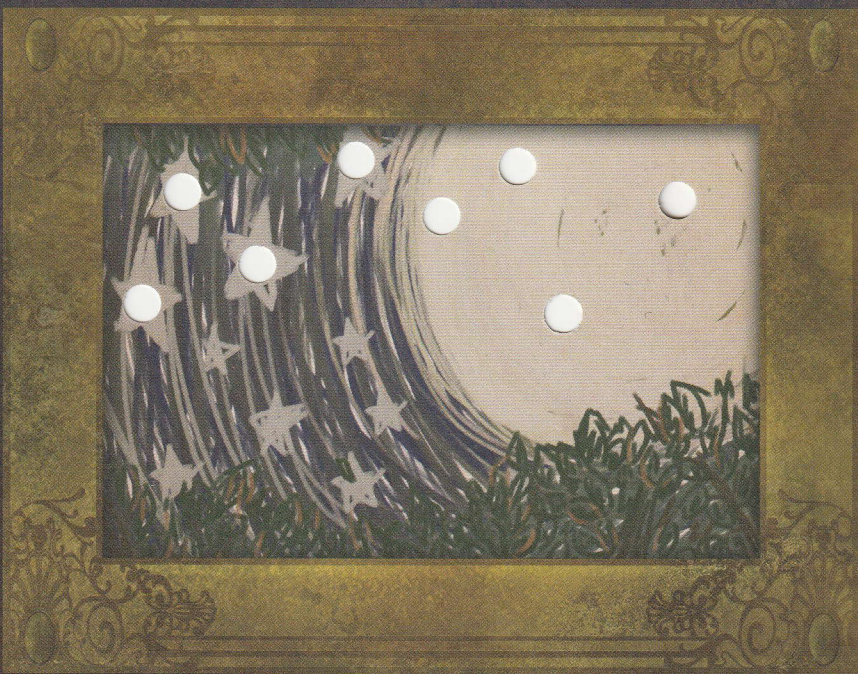
© INTERNET Co., Ltd. ALL RIGHTS RESERVED © CAFFEIN / CFM



4 582275 372304

販売: クエイク株式会社
<http://exitunes.com>

販売: ポニーキャニオン
<http://www.ponycanyon.co.jp/>



孤独な男がその死の間際に作り上げた
森の奥の小さな映画館

孤獨な男がその死の間際に作り上げた
妻の夢の小さな映画館

聞こえてくるのは鳥の囀り？
 いいえそれは森の囀き声
 輝いているのは月の光？
 いいえそれは燃える炎よ

 かつて「母さん」と呼んだ人
 呪府の中で死へと変わり
 後に残ったのは月夜の罪
 僕らの手で七つに分けた

 『色欲』は花
 『悪食』は種
 『傲慢』は石
 『嫉妬』は泉
 『怠惰』は風
 『強欲』は土
 そして
 『憤怒』は森

 舞い上がった七つの罪
 偽りの母から生まれた穢れ
 回れ廻れ世界よ
 この悪しき大罪
 清めてよ

 禁断の果実の手で
 世界に放たれた七つの罪
 森を守るエルドの樹は
 全ての回収を友に頼む

 「退屈しのぎにならなるそれも構わない」
 「どうせ時間は無限にあるし」
 囁く魔道師

 愛する人を失い
 大事なものを壊したその果てに
 与えられた悠久は
 彼女にとって空虚でしかない

 全てを手に入れ
 そして失った魔道師は
 何を望む？
 何を求める？
 時の果てに…

 一人の女から生まれて育まれ
 七つに割かれた罪のストーリー
 時を超える魔女の偉大な気まぐれ
 森から始まる時の物語 (クロノ・ストーリー)

IV. ヴェノマニア公の狂気

詞／曲 mothy

てもう…」

るは 一匹の熊 (一人の女) の亡骸
の満ちた小さなガラスの小瓶…

去り月夜抄

詞 / 曲 *mothy*

な夢に続いているの？

そたくさん食べられるのかな？

遊んでいるのですか？

で僕らを見ているのですか？

っていた

で

できないと

された僕ら
とダレーテル
な光で 帰る道もわからない

ただ歩く
わけじゃない
月に照らされ
道を照らす
正しい道か
ただただ歩く

今日もまた美しい淑女が
僕の元を訪れる
微笑ふを浮かべる貴女は
新しい妻となる
禁断の悪魔との契約
手に入れた この力
僕を見た 全ての女は
魅了され 堕ちていく

女性を魅了する力を手に入れた
男は一人居住の地下室に
気に入った女を次々に連れ込み
ハーレムを作り上げた

毒を秘めたリビドーの味
突き刺した刃の快楽
血と汗は混じり合いやがて
紫の濡へと変わる

服を脱ぎ捨て抱き合えば
現実へはもう二度と戻れない

燃やされた昔の肖像画
捨て去った過去の僕
捨てもが囁り笑った
あの顔は忘れたい
傍らの可愛い娘を
抱き寄せてキスをする
彼女はそう かつて僕のこと
馬鹿にした幼馴染

ある日を境にして国中の女が
いつしか次々と行方をくらませた
あるものは女房 あるものは娘を
失い途方に暮れた

闇に染まるリビドーの色
とどろく無限の情欲
欲望は全てを呑み込み
貴女はもう人ではなくなる

VI. トワイライトプランク

詞 / 曲 mothy

なにもないところで
 突然つまずいて泣き出した
 大丈夫 それはきっと
 悪い夕暮れのいたずらよ

 早く帰らなきゃ
 暗くなる前に

 水平線の向こうで
 アクマがニコリと笑ってた
 「私の黒いお腹に
 君たちを入れて遊ぼうよ」

 早く帰らなきゃ
 食べられる前に

 砂浜に隠してた
 小さな箱は
 夜の闇 包まれて
 もう二度と見つからない

 夕焼けを二人で
 半分ずつ分け合おう
 私は昼
 僕は夜
 手をつなげばオレンジの空

まかしむかしあるところに
 恋逆非道の王国の
 頂点に君臨するは
 齡十四の王女様

 絢爛豪華な調度品
 顔のよく似た召使
 愛馬の名前はジョセフィース
 全てが全て彼女のもの

 お金が足りなくなったら
 愚民どもから搾りとれ
 秘に送らう者たちは
 肅清してしまえ

 「あ、ひざまずきなさい」

 悪の華　可憐に咲く
 鮮やかな彩りで
 周りの衰へたる華草は
 嗚呼　養分とろちなりていく

 暴君王女が恋するは
 海の向こうの青い人
 だけれど彼は隣国の
 緑の女にひとめぼれ

 嫉妬に狂った王女様
 ある日大臣を呼び出して
 静かな声で言いました
 「緑の国を滅ぼさない」

 幾多の家が焼き弘われ
 幾多の命が消えていく
 苦しむ人々の嘆きは
 王女には届かない

 「あら、おやつ時間だわ」

「あら、おやつ時間だわ」

悪の華 可憐に咲く
狂おしい彩りで
とても美しい花なのに
嗚呼 棘が多すぎて触れない

悪の王女を倒すべく
ついに人々は立ち上がる
烏合の彼らを率いるは
赤き鎧の女剣士

つもりにつもったその怒り
国全体を包み込んだ
長年の戦で疲れた
兵士たちなど敵ではない

ついに王宮は囲まれて
家臣たちも逃げ出した
可憐・可憐な王女様
ついに捕らえられた

「この 無礼者！」

悪の華 可憐に咲く
悲しげな彩りで
彼女のための楽園は
嗚呼 もろくもはなかく崩れてく

むかしむかしあるところに
悪逆非道の王国の
頂上に君臨してた
齡十四の王女様

処刑の時間は午後四時
教会の鐘が鳴る時間
王女と呼ばれたその人は
一人牢屋で何を思う

ついにその時はやってきて
終わりを告げる鐘が鳴る
民衆などには目もくずれ
彼女はこういつた

「あら、おやつ時間だわ」

悪の華 可憐に散る
鮮やかな彩りで
のちの人々はこう語る
嗚呼 彼女は正に悪ノ娘

VIII. 惡ノ召使

詞／曲 mothy

君は玉女 僕は召使
運命分かつ 哀れな双子
君を守る その為ならば
僕は悪にだってなつてやる

期待の中僕らは生まれた
祝福するは教会の鐘
大人たちの勝手な都合で
僕らの未来は二つに裂けた

たとえ世界の全てが
君の敵になろうとも
僕が君を守るから
君はそこで笑っていて

君は玉女 僕は召使
運命分かつ 哀れな双子
君を守る その為ならば
僕は悪にだってなつてやる

もうすでにこの國は終るだらう
怒れる國民たちの手で
これが報いだというのならば
僕はあえて それに逆らおう

「はら僕の服を貸してあげる」
「これ着てすぐお逃げなさい」
「大丈夫僕は双子だよ」
「きつとだれにもわからないさ」

僕は王女 君は逃亡者
運命分かつ 悲しき双子
君を悪だというのならば
僕だって同じ 血が流れてる

むかしむかしあるところに
悪逆非道の王国の
頂点に君臨してた
とても可愛い僕の姉弟

たとえ世界の全てが
君の敵になろうとも
僕は君を守るから
君はどこかで笑っていて

（ついにその時はやってきて
終わりを告げる鐘が鳴る
民衆などには目もくれず
君は私の口癖をいう）

君は王女 僕は召使
運命分かつ 哀れな双子
君を守る そゝの為なら
僕は悪にだってなつてやる

もしも生まれ変わるのならば
その時はまた遊んでね

IX. リグレットメッセージ

詞／曲 me

街はずれの小さな港
一人たつずも少女

この海に昔からある
ひそかな言い伝え

「願いを書いた羊皮紙を」
「小瓶に入れて」
「海に流せばいつの日か」
「想いは実るでしょう」

流れていく ガラスの小瓶
願いを込めたメッセージ
水平線の彼方に
静かに消えてく

XI. Re_birthday

詞／曲 丁

君はいつも私のために
なんでもしてくれたのに

私はいつもわがままばかり
君を困らせた

願いをかなえてくれる君
もうないから
この海に私の想い
届けてもらうの

流れていく 小さな願い
涙と少しのグレット
罪に気付くのはいつも
全て終わった後

流れていく ガラスの小瓶
願いを込めたメッセージ
水平線の彼方に
静かに消えてく

流れていく 小さな願い
涙と少しのグレット

「もしも生まれ変わるならば」

X. 白ノ娘

蠅／曲 moth

「生きていてごめんなさい」いつのまにか口癖
弱音ばかり吐いていたつもぬだけの人生村
村の人たちは皆「きれいな緑の髪
仲間外れの私」と言う白い髪。

森の奥で密かに そびえ立つ千年樹
私はここの人 神に照いをかけた
孤独に生き続けること それはとても寂しい
だけれどもいい私の 友達になって欲しい

彼女と出会ったのは 千年樹のすぐそば
倒れていた彼女を 助けたのが始まり
いつのまにか二人は とても仲良くなった
けれど私と彼女 何かかもが違った

村のなかの誰より きれいな緑の髪
その優しい心と笑顔 誰からも愛された
どうしてこんな私にも 優しくしてくれるの？
自分より劣る者を 憐れんでるものなの？

あいつと彼女の出会いが 全てを狂わせ
海の向うの国王の 彼女は彼を深く愛
隣りの国王の王女の 求婚を拒んだ

国は戦いに包まれた
王女が下した命令
「敵の髪的女は全て
殺してしまいなさい」

みんなみんななくなってしまう
白い髪の人以外
彼女の代わりに私が死ねばよかったのに
どうして どうして

「生きていてごめんなさい」 いつのまに
別居がけが吐いていた つまらぬだけの
港町の教会 新たに暮らした始めた
革命で王女が死んだと 風の噂で聞いた

彼女と出会うのは 教会のすぐそば
倒れてしまった彼女を 助けたのが始まり
いつのまにか二人は とても仲良くなつ
ただ私と彼女 何もかもが違った

誰もいない夜の儀禮室
真実聞いてしまった彼女の告白
ああ なんということでしょう
彼女は正に
一巻ノ姫。

街はずれの小さな港
一人たずむあゝの楢
背後から近づき私
懐からナイフ
取り出して王女の背中に向けて
振り上げた

あなたに謝らなければいけないことがあるの
私結婚あなとの仇はとれなかった
あの結は些細な、とてもとても愛知な

「はじめまして」だったかしら？それとも「おひさしぶり」？
...とっちらでもいいわね、そんなこと。

私はかつて「Na」と呼ばれた者。

あなたも噂を聞きつけてやってきたタチか？
この映画館に莫大な財産が隠されているという「噂」。
初めに言っておきますが、それは真実ではありません。

あなたが財宝目当てにここへ来たというのなら、
廻れ右して、速やかに逃げ帰ることをおススメします。

もしそうでないのなら...
せっかくだから、私と一緒に映画でも観ませんか？

ついでに、このエヴァリオン地方で起こったいくつかの事件、
そして一人の魔道師について、
少しお話させていただきますね。

本日の上限作品は15本。
あなたのお気に召すかしら？

悪ノ王国

mothy_悪ノP feat. 鏡音レン

I. moonlit bear

/ mothy_悪ノP feat. 初音ミク & KAITO

II. 置き去り月夜抄

/ mothy_悪ノP feat. 鏡音レン & 鏡音リン

III. クロノ・ストーリー

/ mothy_悪ノP feat. 巡音ルカ & 鏡音リン & 鏡音レン

IV. ギュエノマニア公の狂気

/ mothy_悪ノP feat. 神威がくほ & 初音ミク
& 巡音ルカ & MEIKO & GUMI & KAITO

V. 悪食娘コンチータ

/ mothy_悪ノP feat. MEIKO & 鏡音リン & 鏡音レン

VI. トワイライトブランキング

/ mothy_悪ノP feat. 鏡音リン & 鏡音レン

VII. 悪ノ娘

/ mothy_悪ノP feat. 鏡音リン

VIII. 悪ノ召使

/ mothy_悪ノP feat. 鏡音レン

IX. リグレットメツセージ

/ mothy_悪ノP feat. 鏡音リン

X. 白ノ娘

/ mothy_悪ノP feat. 鏡音ハク (初音ミク)

XI. Re_birthday

/ mothy_悪ノP feat. 鏡音レン

XII. 月夜坂の住立屋

/ mothy_悪ノP feat. 巡音ルカ

XIII. 悪徳のジャッジメント

/ mothy_悪ノP feat. KAITO

XIV. 箱庭の少女

/ mothy_悪ノP feat. 初音ミク

XV. ハートビート・クロックタワー

/ mothy_悪ノP feat. KAITO

【原罪】

この森がまだ「ユルダの森」と呼ばれていた頃...
若い木こりの良事が暮らしていました。
夫の方の名前はわかりませんが、妻の名は耶麻か...イザ。そう、イザ＝ムーンリット。そんな名前だったはずですが、
この森で彼女が犯した「罪」。

夫との愛にすがった。望みが叶うと思いがっていた。
やるべきことを怠り子供は死んだ。幸せな人間を失った。
やがてそれは怒りへと変わった。失ったものが寂しくなった。
そして、罰をうけたから果実を摘んだ。
それが全ての始まりとなったのです。

I. moonlit bear

Illustration: 鈴ノ助



Ⅱ. 置き去り月夜抄

Illustration : 芝田

【因果】

両親に連れられ、森を通り双子。
一人は少年、一人は少女。
目的地も知らず、ただただ歩く。
月の欠けた夜。

この物語に登場する双子の名前は、あらゆる文獻に目を通して
結局、見つけることはできませんでした。
彼らの存在は、首ての親によって徹底的に隠されていたからなの
今となっては、彼らがなぜあのような行為に走ったのか、その理由も、心情も
知るすべがないのです。
そもそも、彼らは本当に存在していたのでしょうか？



Ⅲ. クロノ・ストーリー

Illustration : Raveta

【退屈】

双子。
機もたずを眺める彼らの目には、何が映っていたのか？
彼らは全てを解る彼ら、そして姿を消しました。

魔道師
彼女がまだ、本当の意味で「エルカークワーカー」だった頃
の年頃の娘で彼女はまだ、代わりの永久ともいえる「退屈」を与えられました。
森のすきり神...友人「エルトの母」からの贈り物は、彼女の「退屈」を埋めるには
ちやうどよかったです。
あれから千年近く経ちますが、いまだに依頼が完結されていないのは
心苦しいことです。



Illustration : 兎加

V. 悪食娘コンチータ

【暴食】

「大罪」に囚われた者たちの中でも、パニカ＝コンチータは幸せな方だったのかもしれません。彼女は自らの欲望と信念を、最後まで貫き通したわけですから。

ルカーナ＝オクトの身体を手に入れたことで、エルルカにとって「大罪の器」探しは多分かなり容易なものとなりました。彼女の肉体に残っていた「悪食」の能力が、その一助となったのです。それでもこの時に「暴食」の種を取り憑いたのは、パニカにとりついていた其子の利用人の邪魔が入ったからです。

あの其子が、なぜ彼等から遠く離れたベルゼニア帝国にいたのか、はつきりしたことはわかりませんが、私個人は推測になりますが、彼らはもしかしたらパニカに「母の面影」を見たのかもしれない。

Illustration : 鈴ノ助

IV. サエ＝セファムの悪食

【色欲】

エルルカが彼等の「悪食」を世に導くためには、あるプロセスが必要となります。普通の人間と比べればはるかに速いとはいえ、やはりあるものがある以上、肉体はわずかながらにも「悪食」に汚染されていくか、必ずしも必要があるのです。

それを防ぐためには、身体を定期的に「新」なものに「取り替える」必要があるのです。やはり彼女も女性ですから、常に美しい容姿でいたいというのはご理解いただけるかしら？

サテリアジス＝ヴェンペニア。

彼が起こした事件は、被害者である女性達の心に深い傷を残しました。

ルカーナ＝オクトもまた、その一人でした。悪魔に汚された自らの肉体…純真な彼女にとってそれは耐えがたいことだったというのは、容易に想像できます。

エルルカは彼女の為に、その肉体と尊厳を引き取ってあげたのです。

©INTERNET Co., Ltd. ALL RIGHTS RESERVED



VI. トワイライトフランダシ

Illustration : 恋加

【悪戯】 この時期のエヴィリオス地方は、国家間の争いが多く、戦争が絶えませんでした。しかしエルカがにとっては、久々に人間らしい生活を取り戻せた時代でもありました。戦いの最中において、友と呼べる友達との出会いがあったからです。

そんな彼女のささやかな幸福は、友人の一人、アンネが生んだ赤子達を見た瞬間に打ち砕かれました。赤子達があの思まわしき双子とそっくりだったこと。そして、そのうちの一人が「散漫」の大罪に因り殺されていることに気づいてしまったからです。



VII. 悪ノ娘

Illustration : 恋加

【散漫】 リリアンズ・スードード・ワルシム。彼に「悪ノ娘」と呼ばれたリファニアの王女。エルカは幼い彼女から無理矢理、大罪を引かされました。リリアンズは記憶を失い結果をなりましたが、それで悲劇は避けられるはずでした。

けれども、実際にそうはなりません。成長した彼女の悪逆非道な行い、それは民衆達の反感を買ったことになりました。

「罪」の触手が双子の弟の方まで及んでいくことに気が付かなかったのは、エルカの勝ち負けという他はありません。



Illustration : 志加

【忠実】

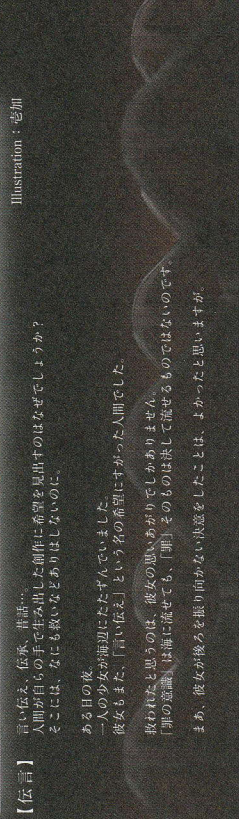
あなたが卒んだはずの歴史。
それは全てが真実を描いているわけではないかもしれません。
アレン＝アヴァドニアはリリアンヌ王女の召使。
ルシフェニア革命の際、王宮から逃げ出し、その後の消息は不明、とされています。
アレン＝アヴァドニアの名前は教科書には載っていませんが
彼もまた、歴史の一端を担う人物なのです。
しかし、それはどうでもいいことです。
エルルカにとって重要なのは、大罪の罫「四肢脱」を手に入れられなかったこと。
私にとって重要なのは、彼が園中の一つではなくなっただけのこと。

【伝言】

言い伝え、伝承、昔話…
人間が自らの手で書き出した創作は希望を見出すのはなぜでしょうか？
そこには、なにも救いなどありはしないのに。
ある日の夜。
一人の少女が海辺にたたずんでいました。
彼女もまた、「言い伝え」という名の希望にすがった人間でした。
救われたいと思うのは、彼女の思いでありでしかありません。
「罪の意識」は誰に流れても、「罪」そのものは決して赦せるものではないのです。
まあ、彼女が後ろを振り向かない決意をしたことは、よかったと思います。

Illustration : 志加

IX. リグレット・メッセージ





X. 白ノ娘

Illustration : 夢加

【無力】 物語は再び幕から始まります。かつてのエルドで育ったネツツ枝の末裔。原宿を捨てる風潮は、度しかった少女の心を傷つけ、歪めます。彼女は無力な人間でした。未来を通る旅路でも誰かに助ける度しさも無力に打ち負かされました。持ち合わせてはいませんでした。

エルドとネツツ枝の計画は、結果としてクラリスの願いをかなえることとなりました。それはクラリスにとって良かったことなのか、そうではなかったのか。

© CAFFEIN / CFM



XI. Re_birthday

Illustration : 夢加

【再生】 外された歯車。その結末は闇の中。ブラックボックスは砂に埋もれ、見つかることはないでしょう。少年が目覚めたのは、黒い部屋の中。そこで待っていたのは、闇と孤独。そして巨大なゼンマイ。闇の日々が始まります。

これは箱の中の物語。だからこれが物語の終わりなのか、それとも始まりなのか、誰にもわからないのです。



Illustration : Revetta

【嫉妬】 この頃になると、ニカーナ＝オクトの肉体にもわずかながら老いが見えてきました。快活な「建屋」のためにも、ニルカはそろそろ新しい身体が欲しいと思いついていました。

エヴィリオス地方からはるか東方に位置するこの国での生活は、彼女にとって中々刺激的なものでした。仕立屋のカヨ＝ストウは綺麗な黒髪の美人でしたが、不思議なことに彼女は自分の容姿にコンプレックスを抱いていたようで、逆にニルカの容姿を羨ましがっていたのです。

それらとは対照的に、ニルカは彼女が背負っていた「大罪」と身体を交換しました。ニルカはニカーナの容姿と、カヨはニカーナの身体と、ニルカの身体と、カヨはニカーナの容姿と、それぞれが自分の身体と交換したのです。

しかし、手遅れでした。その時、カヨは既に精神の奥底まで「罪」に犯されていたのです。



XIII. 悪徳のジャッジメント

Illustration : ユーリム@北乃友利

【強欲】 四つ目による連合国家、USE(Union State of Evilions)がエヴィリオス地方の覇権を握っていたこの時代、エヴィリオス地方はUSEの支配下、ガレリアン・マコーンはその立場を利用し、

ある時は教習となった貧民から多額の賄賂を受け取り、またある時は王族にとって都合の悪い人間を無実の罪で陥れることによって私腹を肥やしていました。

私の友人だったガレリアン。

彼もまた、「大罪」に犯されていた。

私はそれを、悪に利用してみようと思いましたが、

彼は私の悪意を察し、多くの「罪」を犯してくれました。

その「収集品」達の保管場所…。そう、それが私達がいる、この映画館なのです。



Illustration : 鈴ノ助

【人形】 少女にとっては、家の中が世界のすべてでした。大好きな父と母親の顔を想い、くも顔の映像。たまに目の前を流れる水も、それだけで彼女には幸せだったので。

この映画館の館長である彼女。ガレリアンが最も愛した「他」。彼女がこの映画館にいる理由を考えれば、自ずと答えはでるはず。私の推測が正しければ、彼女もまた...

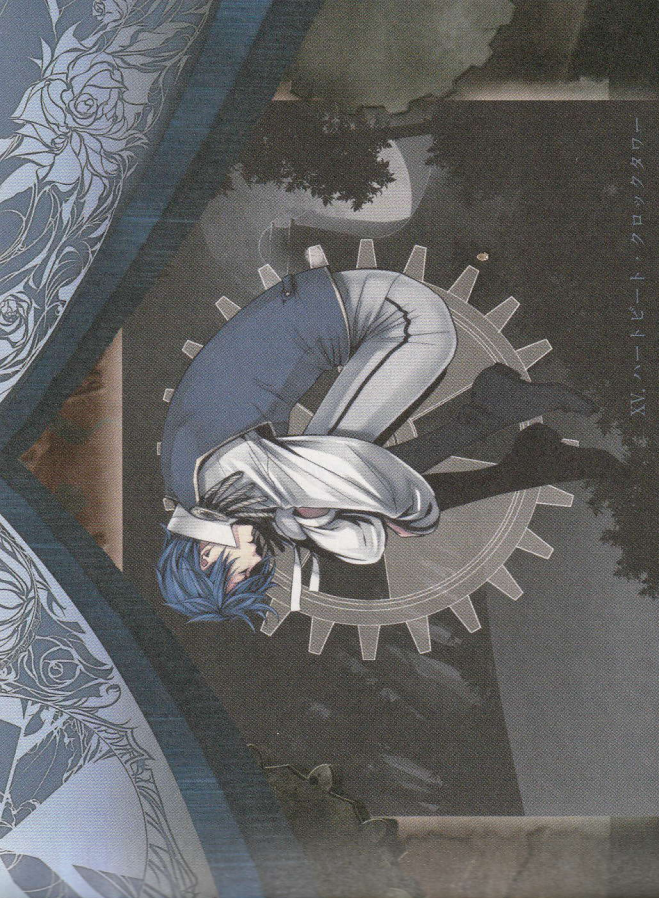


Illustration : 鈴ノ助

【齒車】 「大罪の器」は七つのうち、五つが壊れました。...今は七つというところにおさまろう。...まだ壊れているもの、本来の使命を忘れていたもの、それ以上でも、それ以下でもありません。...ええ、私が一体何者か？私には「Mal」、それ以上でも、それ以下でもありません。

あなたが私の正体を知りたいと言っているのであれば、ひとつ、「言葉遊び」でもしようか？ わがまま、私が、いたずらでも七つの器をこの映画館のどこかに隠してしまっただけです。そのまづ、七つの器の持つ緑の歯車、全部で六つ、それを集めてくださるでしょうか？ 六つの器に刻まれた「印」、それから集められる言葉を

【Mal】 ここに初めてはめてください。そうすれば、あなたの望む答えを得られることでしょう。それでは、さようなら。またお会いできる日を、楽しみにしています。

- 001年 ◆**イヴァムーンリットによる誘拐・殺人事件（原因）発生**
エルフエゴート国・エルドの森にて、イヴァムーンリットが双子の子供（当時1歳）を誘拐。逃つてきた双子の母親を殺害。
- 013年 ◆**レヴァイアンタの災厄**
レヴァイアンタ魔道王国・王立士官学校にて、魔法実習中の事故発生。
レヴァイアンタ魔道王国崩壊。大規模な爆発は周辺国にまで及ぶ。
- 014年 ◆**前年のレヴァイアンタでの事故が原因となり、エルフエゴート国の飢饉・疫病問題が深刻化**
◆**エルドの森における木こり夫婦殺人事件**
イヴァムーンリット及びその子、養子であった双子の姉弟により殺害。
- 015年 ◆**「七つの大罪」発生**
双子により「七つの大罪」が世界にのこすことになる。
エルドの森を守り神「エルドの樹」がエルルカルクロックウィーカーに大罪の抑束を依頼。
- 136年 ◆**ヴェノニア事件**
ベルゼニア帝国・アスモティン地方にて、サテリアス・ヴェノニア公国による大規模な女性誘拐事件が発生。
被害は自国・他国の王族女性にまで及び、国際問題に発展しかける。
- 137年 ◆**サテリアス・ヴェノニア・マールロン国の真珠ガールズによる殺害**
この件に因り、ベルゼニア帝国はガールズへの非難を問わなかった。
エルルカルクロックウィーカー・ヴェノニア事件の被害者ルカトリオクトに接近。
「真身の娘」によりルカトリオの身体を手に入れる。
- 212年 ◆**アスモティン独立**
アスモティンがベルゼニア帝国から独立。
- 301年 ◆**レヴァイアンタ再建**
神聖レヴァイアンタ（旧・レヴァイアンタ魔道王国）建国。
- 325年 ◆**「人食い娘」コンチータ行方不明事件**
ベルゼニア帝国・コンチータ領にて、領主バニカ・コンチータが人食い娘とつながっているという噂が発生。
コンチータは連戦と契約してしまつたという話もあり、帝国は著名な魔道師エルルカルクロックウィーカーに
真実の調査を依頼。
しかし、真実バニカが行方不明となり、調査は中止される。
- 399年 ◆**ルシフエニア建国**
ベルゼニア帝国・ルシフエニア領にて独立運動が活発化。
ルシフエニア1世を王とするルシフエニア王国が建国。
- 480年 前後 ◆**エルルカルクロックウィーカー、通称のルシフエニア国王・アラス1世の誕生**
◆**ルシフエニア、領土を拡大**
ルシフエニア王国、隣国に次々と宣戦布告。領土を拡大していく。
ベルゼニア帝国はこの期間のルシフエニア王国と戦争の敗北から、急速にその勢力を失っていく。

- 490年 前後 ◆**三英雄の活躍**
ベルゼニア・エヴァイリオス地方の一部以外の領土を失う。
ルシフエニアの大団体化に貢献したルシフエニア王・アラス1世の二つの部下
（オムバート・アラム・エルルカ）が「三英雄」と呼ばれるようになる。
- 499年 ◆**エルルカルクロックウィーカー、千年樹（旧・エルドの樹）の真実とある魔道師ミミリスの弟子になる**
- 500年 ◆**ルシフエニア、エルフエゴートに侵攻**
ルシフエニア王国、突如エルフエゴート国に侵攻。
◆**ルシフエニア革命**
ルシフエニア王国にて、王女リリアン・スミッド・クリスエの傲慢な振る舞いに国民が反発。
レオンバルトの姉・シエラ・スミッド・アヤブドニスをリーダーとした革命がおこる。
リリアン・スミッド、革命軍により廃位される。
エルルカルクロックウィーカー、大商人ギョーリフ・ワグネルより大罪の器「ヴェノム・ソート」を手に入れる。
- 611年 ◆**マリゴ高地の没入**
没入。
- 842年 ◆**エルルカルクロックウィーカー、東方の島国にて仕立屋カヨ・スドウは遠征**
「真身の娘」によりカヨの身体、及び大罪の器「カヨの殻」を手に入れる。
◆**カヨ・スドウによる連続殺人事件**
東方の国にて、仕立屋カヨ・スドウによる連続殺人事件発生。
- 878年 ◆**アイシクル条約締結**
マールン、レヴァイアンタ、エルフエゴート、ルシフエニア国による連合国家「USE (Union State of Evillious)」締結。
- 978年 ◆**マールン**
U.S.国連軍の裁判官・ガレリアン・マールンの妻と娘が事故により死亡。
- 980年 ◆**脚本家マールンがガレリアン・マールンに接近し、大罪の器について話す**
- 982年 ◆**EVILS THEATER**
ガレリアン・マールン、千年樹の森に映画館を建設。
- 983年 ◆**レヴァイアンタ内乱**
反叛軍の軍に倒れた兵士、トニー・オースティンの裁判に因り、ガレリアン・マールンの責任が決定。
反叛軍は最終に内乱に発展。トニー、ガレリアンは惨殺される。
Ma. ガレリアンの遺産を相続。大罪の器「ガラス・ホブ・コンチータ」「マールン・スミッド」
「ルシフエニアの四姉妹」を手に入れる。
- 990年 ◆**EVILS FOREST**
千年樹の森に、ガレリアン・マールンの遺産を継いだ映画館があるという噂が広がる。
千年樹の森に侵入した人間が次々と行方不明になる。
- 999年

るりら　るりらと響く唄

時をいろどる　あわれな唄よ

空で輝く　つきがきれいで

剣から咲くよ　うつくしい花が

種から咲くよ　うつくしいグラス

まんげつの夜に　みがきつづけたら

石は四枚の　鏡になった

びかびか光るよ　小びんとともに

つくなるやいば　泉にひたす

泉のいろは　ちのいろに

めざしたひとの　ちのいろに

人形動かす　見えない風が

スプーンはすくう　見えない土を

全部そろった　その時に

最後にかえる　森にかえる

あふれるほどの　怒りとともに



